機体審査用紙(ユニークデザイン)

			所属	東京農	工大学航空研究会				
-Z./557				機	(フリカ	ナ) フライングマンタ			
17 基7	飛行順_	決勝飛行順	エントリーNo.	体名	フラ	イングマンタ			
					機体	諸元			
種 類 全 長		行機 転翼機(主回転す 行船(浮揚ガス)	はヘリウムガス	スに限					
全			1	100	mm				
幅				1100	111111		7		
全高				130	mm				
胴体人	・ 十曜 を	一体的に設計す	ることで、重	量増が	1111を抑え	ながら機体強度と翼面積を	·確保】。大/	°√ □-	ードを実
現する		11 11 31 - 12 11 /		33 H/) H C 1. H / I			•	1 2 7
空虚	重量		195 グ	ラム	注:飛	庁船の場合はヘリウム浮力を除	ζ.		
バッフ	テリー	種類: ■	Li-Po, □ N	Ni-Co	l, 🗆	Ni-MH, □ Li-Fe	セル数:	2	セル
重心	位置	モーターマウ	ントを基準に,	機体	本後部方	向~150mm			
		と翼面荷重 はガス容積を記述	主翼面積	: 8	34.1 dm	2, 翼面荷重: 5.72 グラ	ム/dm²		
	投下装置・動作的 投下装置・動作後 Li-Po								
全	計画から	開発までの期間	間: 約	3	週間	試験・練習総飛行時	間: 約	1	0 時間

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	機体審査項目	◊ ∓₫₫→←	審査結果	γ ι υ ν γ .	備考						
	1) 1545	練習前 □ 飛行機	予選前	決勝前							
1	1) 種類	□ 飛打機 □ 回転翼機 □ 飛行船									
種類	2) オリジナル性 〇×										
2	空虚重量				200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)						
重量	(飛行船は最大長)	g cm	g cm	g cm							
0	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)						
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 〇×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等						
<i>)</i>	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底						
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)						
ハッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	NFMH: 7 とル以下(1.2V/ とル) Li-Fe: 2セル以下(3.3V/セル)						
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量						
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.						
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.						
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数						
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認						
無線方式	3)非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.						
	4) フェールセーフ機 能 ○×										
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認.						
8	ミッションのための 装置の安全性 〇×										
9	その他(備考)										
10	機体審査結果 〇×										

			機体審查片	月紙 (ユニークデザ	イン)				
		エントリー部門							
	ž.	ユニークデザイン部門]	所属	京都大学				
				機体名	(フリガナ) クロワッサン				
予選飛	行順	決勝飛行順	エントリーNo.						
					croissant				
			機	体 諸 元		_			
種類		庁機 伝翼機(主回転翼を動⊅ 庁船(浮揚ガスはヘリ・	カ駆動しないもの)						
全 長			$399 \mathrm{mm}$						
全幅			1138mm						
全 高			145mm						
	主翼を羽ばたかせ、鳥のように飛行する。								
空虚重	量	51 グラム 注:飛行	船の場合はヘリウム浮	力を除く.					
バッテリ			□ Ni-Cd, □ □ □ Li-Fe		セル数: 1 セル				
重心位		() МПС			向へ (25) mm				
(注:		責と翼面荷重 はガス容積を記載)	主翼面積: 9	.832 dm	n ² ,翼面荷重: 5.187 グラム/dm ² (ガス容積: m ³)				







全計画から開発までの期間: 約

19 週間

試験・練習総飛行時間:

時間

	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	V.=		
種 類 	2) オリジナル性 〇×				
2 重	空虚重量 (飛行船は最大長)				200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
重量	(飛行が以取八女)	g cm	g cm	g cm	
3	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
//	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)
ĺ	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立•装備状態安全 性 ○×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) 〇×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×				
7	推進系統全開, フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認
8	ミッションのための 装置の安全性 〇×				
9	その他(備考)				
10	機体審査結果 〇×				

機体審査用紙(ユニークデザイン)

エントリー部門 コニークデザイン部門			所属	秋田コ	二業高等専	門学校					
Z Z Z Z HMI J					(フリガナ) ワイディーケーダブルアール						
予選	飛行順	決勝飛行順	エントリーNo.	機							
				名	YDI	K-RR					
	1				機体	諸 元					
種 類 		行機 転翼機(主回転3 行船(浮揚ガス)									
全長				860	mm		77 1				
全 幅				380	mm			(撑面)	W		
全高				500	mm						
	←										
		箱形の植	幾体で、可変質	翼を開	く事で	帯空時間を	上げることが	できる。			
空虚	定重量		185 グ	` ラム	注:飛	行船の場合に	はヘリウム浮力を	除く.			
バッ	テリー	種類: ■	Li-Po, □	Ni-Co	d, 🗆	Ni-MH,	□ Li-Fe	セル数:	2 セル		
重心	位置	(前方) を基準に,	(後ろ) 方	向へ (150) mm		
		質と翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	į :			n ² ,翼面荷重: ガス容積:	5.	67 グラム/dm² m³)		
全計	†迪から	開発までの期間	: 約	1	0 週間	試験・	練習総飛行時	間: 約	20 時間		

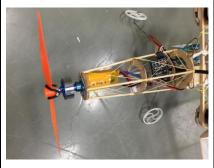
「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正して PDF で2ページに収めるこ

	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備考	
1	1) 種類		丁7 共 川	次勝則		
種類	2) オリジナル性 〇×					
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長)	g	g	g	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)	
量	() (C) (C) (C)	cm	cm	cm		
3	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)	
動力	2) モータ・プロペラ の取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等	
/3	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底	
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)	
/ ツテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)	
ĺ	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量	
5	1) 進行方向の先端・ 突起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.	
機体	2) 組立・装備状態安 全性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良.リンケージの仮止は不可.	
	1) 2.4GHz (受信機と リンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数	
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認	
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により確実にOFFできるか.	
	4) フェールセーフ機 能 〇×					
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.	
8	ミッションのための 装置の安全性 〇×					
9	その他(備考)					
10	機体審査結果 ○×					

第12回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙(ユニークデザイン) エントリー部門 日本大学 属 ユニークデザイン部門 (フリガナ) デプロイ 機 予選飛行順 決勝飛行順 エントリーNo. 体 deploy 名 機体諸元 種 飛行機 類 全 850 mm 長 1250 mm 幅 全 200 mm 高 機体の特徴(カタパルトで射出して主翼を展開する) 空虚重量 199 グラム 注:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く. バッテリー 種類: ☑ Li-Po, □ Ni-Cd, □ Ni-MH, □ Li-Fe セル数: 2 セル 重心位置 (機体の先端)を基準に、(尾翼) 方向へ(200) mm 主翼面積と翼面荷重 主翼面積: 25dm², 翼面荷重: 7.89 グラム/dm² (注:飛行船はガス容積を記載) (ガス容積: m^3







約

全計画から開発までの期間: 約

18

週間

試験・練習総飛行時間:

時間

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

	この囲は記載せずに提出 										
	機体審査項目	♦±चच÷←	審査結果	∑+ π4 ≥ ←	備考						
		練習前 □ 飛行機	予選前	決勝前							
1	1) 種類	□ 飛打機 □ 回転翼機 □ 飛行船									
種類	2) オリジナル性 〇×										
2	空虚重量				200.0g 以下 (飛行船は170cm 以下)						
重量	(飛行船は最大長)	g cm	g cm	g cm							
	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)						
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等						
<i>)</i>]	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底						
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)						
ハッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	NFMH: 7 とル以下(1.2V/ とル) Li-Fe: 2セル以下(3.3V/セル)						
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量						
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.						
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.						
	1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数						
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認						
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.						
	4) フェールセーフ機 能 ○×										
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認.						
8	ミッションのための 装置の安全性 〇×										
9	その他(備考)										
10	機体審査結果 〇×										

機体審査用紙(ユニークデザイン)

			一所属	豊田コ	二業高等専	門学校				
					(フリカ	iナ) ズンポ	ックス			
予選	飛行順	決勝飛行順	エントリーNo	機 体						
				名	ZUN	NPOX				
					機体	諸元				
種類		行機 転翼機(主回転 行船(浮揚ガス)					, .	7		
全 長				80	0mm					
全幅				150	0mm					
全高				13	0mm	_				
			推力偏	向によ	り機体の	の姿勢制御	を行う。			
空点	重量		196 ク	゚ラム	注:飛	行船の場合は	はヘリウム浮力を	·除く.		
バッ	テリー	種類: ☑				Ni-MH,	□ Li-Fe	セル数:		セル
重心	〉 位置	mm	先端)を	・基準に,	(後ろ) 方向へ(24)
		うと翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	責:	78		翼面荷重: ス容積:	2.5	グラ、	ム/dm² m³)
	独自ミッションに関連した装置の 図面もしくは写真② (この上に貼るか、この欄の文字を 消して、はめ込む)									
全	計画から	開発までの期間	引: 約	6	週間	試験・練	習総飛行時間	: 約	2	時間

「本書式は全2ページです、越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

	この囲は記載ですに提出										
	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考						
1	1) 種類		77共刊	次勝則							
種類	2) オリジナル性 〇×	713147/8									
	空虚重量 (飛行船は最大長)	a a	G.	a.	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)						
重量	()图1加(3取八文)	g cm	g cm	g cm							
0	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)						
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等						
//	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底						
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)						
/ ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	NFMH. 7 とか以下(1.2V/ とか) Li-Fe: 2セル以下(3.3V/セル)						
ĺ	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量						
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.						
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.						
	1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数						
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認						
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.						
	4) フェールセーフ機 能 〇×										
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認.						
8	ミッションのための 装置の安全性 〇×										
9	その他(備考)										
10	機体審査結果 ○×										